

区立中学校に在籍していれば誰でも入部できる区立中学校カヌー部。今年開催されたリオデジャネイロパラリンピックに出場した瀬立モニカ選手も出身者のひとり



“わたしのまち”

江東区

誰もがスポーツに親しめるまちづくり

スポーツ アンド サポート

SPORTS & SUPPORTS KOTO City in TOKYO スポーツと人情が熱いまち 江東区

東京2020オリンピック・パラリンピックで多くの競技会場が整備される江東区。平成27年10月にブランドコンセプト「SPORTS & SUPPORTS KOTO City in TOKYO」を決定し、区内外に広くアピールしています。4年後に控えたオリンピック・パラリンピックの開催を前に、気運が高まる江東区のスポーツ普及の取組や、身近でスポーツに親しめるスポットを紹介します。

最多を誇る江東区の五輪会場

江東区には多くの河川・運河があり、豊かな水辺環境に恵まれています。水辺を生かした親水公園や大規模公園が整備され、たくさんのスポーツ施設も集結しています。また、キャンプ場や釣りスポットなどアウトドアレジャーが楽しめる場所も多く、区民が自然やスポーツに気軽に親しめる環境が整っています。一方で、門前仲町や深川・亀戸・砂町など歴史ある地域も残り、下町人情とおもてなしの心が息づいています。

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、多くの競技が江東区で開催される予定です。区は、その開催を契機として、平成28年3月、「江東

区ブランディング戦略」を策定しました。

ブランディング戦略の目的は、ブランドコンセプト「SPORTS & SUPPORTS KOTO City in TOKYO」スポーツと人情が熱いまち「江東区」とロゴマークの普及を通じて、区の魅力を国内外に広くPRすることです。多くの人に、「江東区を訪れてみたい」「江東区に住んでみたい」と感じていただけるよう、また、東京2020オリンピック・パラリンピックの観戦を目的とした来訪者に、多様な魅力あるまちとしての江東区を知っていただき、今後も継続的に江東区を訪れるリピーターになって



KOTO City in TOKYO
スポーツと人情が熱いまち 江東区

区では東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機に区の魅力を発信するため、「江東区ブランディング戦略」を策定した。ブランドコンセプトを示すロゴマークを作成し、国内外に区の魅力を広くPRする事業を展開している

もらえるよう取組を進めています。
 区の魅力や強みを言葉でわかりやすく表現したブランドコンセプトは、多数の競技会場が揃う充実したスポーツ環境と、伝統的に受け継がれてきた下町人情こそが国内外にPRするにふさわしい区の魅力・強みであるということから決定されました。

ブランドコンセプトを表現したロゴマークは、全国から760作品もの応募の中から選考により決められたものです。ハートの形は、スポーツの感動や鼓動と江東区民の温かい人情（心）を同時に表現しています。また、文字の形は、江東区のまちなみを構成する河川・道路・建物等をイメージしています。

身近でスポーツに親しめるまち

区内には、身近な場所にスポーツセンターや野球場、運動場など、スポーツがしやすい環境が整っています。

東京2020オリンピック・パラリンピックの会場にもなっている有明テ

ニスの森公園は、緑に囲まれた広大な敷地に、一般の方も利用できる屋外48面のテニスコートと、テニスの国際試合やコンサート等各種イベントが行われる多目的スタジアム「有明コロシアム」が配置された日本の「テニスの聖地」ともいえる場所です。

同じくオリンピック競技会場となっている東京辰巳国際水泳場は、約5000席の観客席を有し、世界規模の大会が多数開催される屋内型水泳競技施設です。国際水泳連盟の競技用プール規定をクリアした日本でも中心的な水泳場で、10レーンを備えた50m×25mのメインプールは、可動式の床となっていて水深1・4mから3mにまで変えられます。大会等がない日は一般開放を行っており、国際規格のプールで泳ぐことができます。また、スポーツ振興事業として、初心者向けのシンクロナイズドスイミング教室や水球教室、飛び込み教室など、日本でトップクラスの水泳場ならではの教室が開催されているのも特徴的です。

東京辰巳国際水泳場のすぐ近く、東京湾の運河をはさんであるのが、夢の島競技場です。毎年11月に開催される江東シーサイドマラソン大会の発着点

でもあり、サッカーや陸上競技に利用される、日本陸上競技連盟第2種公認の競技場です。大会等の貸し切り利用

がない場合は、個人や団体での利用が可能です。一方、スポーツ公園をテーマに

江東区は身近にスポーツを楽しめるまち

テニスや水泳大会などの競技大会が開催され、トップアスリートたちが使う施設を一般の方も利用できます。そのほかにも区ではさまざまなスポーツに手軽にチャレンジできる環境が整備されています。



国際大会や日本選手権など世界規模の大会を多数開催
東京辰巳国際水泳場

辰巳2-8-10
 大会等が行われていない一般開放日には、メインプールは中学生以上、サブプールは小学校4年生以上（3歳から小学校3年生は保護者同伴で可）が利用できる。

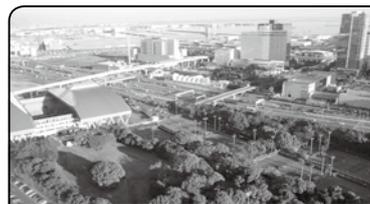


潮風に乗って走る江東シーサイドマラソン大会発着地
夢の島競技場

夢の島1-1-2
 毎年11月の最終日曜日に実施している、日本陸上競技連盟公認「江東シーサイドマラソン大会」の発着地。サッカーの試合も多く開催される。



走りながら眺める景色も魅力の江東シーサイドマラソン大会



気軽に訪れることができる“テニスの聖地”
有明テニスの森公園

有明2-2-22
 春は桜、初夏はツツジの花が咲きほこる並木や広場もあり、散歩、ジョギング、ピクニックを楽しむ人々にぎわう。テニスコートは、初心者でも気軽に利用できる。



多彩なスポーツが楽しめるスポーツ公園
鯉川河川敷公園

亀戸6-33-10（管理事務所）
 雨天時でも利用することができる全天候型の屋外フットサル場や、指導員がついて未経験者でも安心して利用できるカヌー・カヤック場、「親子でキャッチボール広場」などがある。

フリークライミングを体験できるスポット
深川スポーツセンター

越中島1-2-18
 クライミングウォールや各種トレーニングマシンが設置されているトレーニング室、武道場や大体育室、多目的ホールなどを備える。このほか、区内には5カ所のスポーツセンターがある。

「わたしのまち」江東区



子どもたちがスポーツに気軽に親しめる「こうとうこどもスポーツデー」。5,000人を超える参加者でにぎわう。区内全小学校が競う長縄跳び大会や、走り方の基本を学んでから記録に挑戦するかけっこトライアルは毎年盛り上がる



豊かな水辺に囲まれた江東区ならではのイベント「こうとうこどもカヌー大会」。今年は9月18日に開催され、小学校4年生から6年生までの78名の子どもたちが、200メートルのカヌースプリント種目のタイムを競い合った

整備された豎川河川敷公園は、フットサル場やカヌー・カヤック場をはじめ、水上アスレチック・親子でキャッチボール広場・じゃぶじゃぶ池など多彩なスポーツ施設が併設されており、様々なスポーツを気軽に楽しめます。

また、フリークライミングの体験施設として深川スポーツセンターがあります。フリークライミングは、斜面を相手に重力に逆らい、独特の緊張感で自分の限界に挑戦するスポーツです。9月にリニューアルしたばかりの館内

にはクライミングウォールがあり、ボルダリングやロープを利用したトップロープクライミングが体験できます。スポーツには野球やサッカーなど大人数のチームで行う運動もあれば、ウォーキングやランニングなど一人や少人数でも気軽にできる運動もあります。スポーツ環境が整う江東区では、様々なスポーツを通じて、区民が体力向上や健康づくりを図ることができます。

スポーツが熱いまち江東区

4年後に東京2020オリンピック・パラリンピック開催を控えた区では、積極的にスポーツ普及の取組を行っています。

毎年10月に開催される「こうとうこどもスポーツデー」は、様々なスポーツを体験できるイベントです。サッカーやキャッチボールなどの身近なスポーツから、新たにオリンピック種目となるカラテやパラリンピック種目のブラインドサッカー・ボッチャなど、参加者は自由に好きなスポーツに挑戦できるほか、トップアスリートによるパフォーマンス実演もあります。

また、豊富な水辺環境を生かし、カヌーやセーリングなど区ならではのスポ

ーツ環境の整備も進めています。今年で5回目となる「こうとうこどもカヌー大会」は、旧中川・川の駅の前に200m・6コースの特設コースを設営し、小学校4年生から6年生の約80名の参加者が各学年の部ごとにレースを行います。事前に講習会があり、これまでカヌーに乗った経験のない参加者でも安心して参加できる楽しいイベントです。

区は、部活動の選択の幅を広げ、児童・生徒の多様なニーズに応えていくため、地域特性を生かした4つの「特色ある部活動」(セーリング部、カヌー部、女子サッカー部、俳句部)を設置・運営しています。区立小中学校に在籍していれば誰でも参加できる拠点校方式の部活動として、教育委員会と学校とが相互に協力して部活動の振興に取り組んでいます。

同カヌー部出身の瀬立モニカ選手は、高校1年生のときにけがにより一時競技を断念しましたが、リハビリを経て、平成26年の夏からパラカヌー選手として復帰し、旧中川などで練習を重ね、今夏開催されたリオデジャネイロパラリンピックに出場し、見事8位に入賞しました。



リオデジャネイロパラリンピックに出場した瀬立モニカ選手

また、今年度から、「障害者スポーツフェスタこうとう」が開催されます。障害がある人もない人もともに楽しめるスポーツイベントで、東京2020パラリンピックへの気運を盛り上げます。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催により、今後区を訪れる人の数は大きく増えることが予想され、日本全国や世界中からも注目を集めることとなります。

区はこれを好機ととらえ、様々な取組を通じて、誰もがスポーツに気軽に親しめるまち、温かな下町人情が今なお息づくまち江東区の多彩な魅力がPRし、2020年に向けて、「江東区が好き」という人を増やそうと積極的な発信に努めています。